「チョイソコとよあけ」実証実験第６期運行計画策定に向けた課題整理と解決策

資料９－２

「チョイソコとよあけ」実証実験第１～４期運行計画の実証実験結果から見えてきた課題とその課題を解決する方策を以下に示します。

▼図　第６期運行計画に向けた課題整理と解決策（事務局案）

課　題

課題①
市内全域の高齢者や障がい者が、より多くの目的で外出しやすい環境を整備する必要がある

課題②
既存交通事業者との役割分担を明確にした上で、より気軽に利用しやすい公共交通サービスを提供する必要がある

課題③
利用者（高齢者・障がい者・交通不便地域）からの目線で、わかりやすく安心して利用できる運用ルールを確立する必要がある

課題④
利用者の増加に伴う予約不成立（特に午前中）に対応する必要がある

課題⑤
本格運行（４条）を見据えた運行計画（配車管理、運転士の環境等）を整備する必要がある

解決策

▶ 利用者の外出目的を創出し、「移動手段」と「目的」をセットにした仕掛けづくりを構築

▶ 高齢者のお出かけニーズに合わせた運行と乗降場所の拡大

▶ 複雑な移動ルールの緩和と利便性の向上

▶ 安全な運行スケジュールの作成

これまでの運行計画への反映

（事業スキーム）

目的の創出による利用状況を確認する（実証項目に加える）　第3期

各種停留所の取り決め
① 住宅地停留所枠の確定　第4期
② 事業者停留所の拡大　第4期
ア ○○会として協賛することでその○○会の会員の停留所などを停留所とすることができる　第3期
イ 事業者停留所の廃止時期の統一化　第4期
③ 墓地・公園停留所の新設　第4期

（予約受付時間の拡大）

予約受付時間は、利用希望日の２週間前から 15 分前までとする　第3期

（移動ルールの緩和）

住宅地停留所間の移動を可能とする（交通不便地域のみ）　第3期

会員登録時の最寄停留所以外からの乗車を可能とする　第3期

（利便性の向上）

名鉄バスとの乗継割引の導入　継続検討

（運行スケジュールの作成）

運転士の休息時間等を踏まえた、配車管理及び１日の運行スケジュールを構築する　第５期